

いちのみや議会だより



一宮町中学生議会を開催～町への思いや提言を発表～

「関連記事 P11」

第197号
2025.11

町のホームページで議会だよりや議会の録画中継、会議録等を見ることができます。

<https://www.townichinomiya.chiba.jp>



2P

● 9月議会で決まったこと

3P

● 議決審議結果一覧

4P

● 一般質問

11P

● 中学生議会を開催

議案の審議結果		【賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退】 ※議長は採決に加わりません。														
議案 番号	議案・概要 (議案名は一部省略してます。)	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決 結果	篠瀬 寛樹	宇佐美 信幸	藤井 幸恵	川城 茂樹	大橋 照雄	小林 正満	鶴沢 清永	鶴沢 一男	小安 博之	吉野 繁徳	森 佐衛	畑場 博敏	袴田 忍	小関 義明
承認 第1号	令和7年度一般会計補正予算（第2次）の専決処分 …歳入歳出それぞれ313万5千円を追加し、予算総額を62億1,630万6千円とするもの（公民館空調機設置工事）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定 第1号 と 第5号	一般会計決算（認定第1号）、国民健康保険事業特別会計決算（認定第2号）、介護保険特別会計決算（認定第3号）、後期高齢者医療特別会計決算（認定第4号）、農業集落排水事業会計決算（認定第5号） …令和6年度の決算認定は、決算審査特別委員会により、1年間の決算内容を確認し、その経費などを審議するもの ◎委員長：大橋照雄 ○副委員長：小安博之 委 員：森 佐衛、袴田 忍、鶴沢清永、藤井幸恵	委員会に 付託	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
報告 第1号 と 第2号	令和6年度一宮町健全化判断比率（報告第1号） 令和6年度一宮町農業集落排水事業会計資金不足比率（報告第2号） …「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき報告があり、各比率とも基準値の範囲内との報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
報告 第3号	損害賠償額の決定及び和解の専決処分の報告 …町の車両に係る事故について、損害賠償額を決定し和解したとの報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
議案 第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 …地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、職員の仕事と生活の両立を一層容易にするため、部分休業制度を拡充するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第2号	一宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 …育児・介護休業法の改正に伴い、柔軟な働き方を実現するための措置として、妊娠・出産等の申出をした職員に対する意向確認等を義務付けるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第3号	一宮町手数料徴収条例の一部を改正する条例 …システムが全国統一の様式に切り替わることに伴い、軽自動車登録用として無料交付していた「法人所在証明書」を廃止し、新たに「法人営業証明書」（1通300円）を交付するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第4号	一宮町火入れに関する条例の一部を改正する条例 …気象庁が発表する「異常乾燥注意報」が「乾燥注意報」へ呼称変更されたことに伴い、改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第5号	災害用備蓄品の物品購入契約締結 …避難所環境を整備するため、自動ラップ式トイレ、テント式パーテーション、ワンタッチベッド等の物品購入契約を締結するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第6号	自立分散型水循環システム屋外シャワーキット購入契約締結 …避難所における生活環境の改善のため、限られた水を浄化して繰返し使用できる移動可能なシャワーの購入契約を締結するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第7号	令和7年度一般会計補正予算（第3次） …歳入歳出それぞれ9,423万4千円を追加し、予算総額を63億1,054万円とするもの 【※詳細はP2】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第8号	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2次） …歳入歳出それぞれ944万1千円を追加し、予算総額を13億7,062万1千円とするもの（国民健康保険事業納付金等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第9号	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第2次） …歳入歳出それぞれ288万3千円を追加し、予算総額を11億950万3千円とするもの（令和6年度支払基金交付金について、実績確定に伴う超過分の返還金等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案 第10号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1次） …歳入歳出それぞれ54万1千円を追加し、予算総額を2億1,775万7千円とするもの（子ども子育て支援金の追加によるシステム改修費等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
諮問案 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること …小柳薫氏の推薦につき、議会の意見を求めるもの	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意案 第1号	一宮町教育委員会委員の任命につき同意を求めること …小高隆氏の任命につき、議会の同意を求めるもの	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意案 第2号	一宮町教育委員会委員の任命につき同意を求めること …金谷英樹氏の任命につき、議会の同意を求めるもの	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

定例会で決まったこと

令和7年第3回一宮町定例議会は、9月16日に開催されました。

議案は専決処分の承認のほか、条例の一部改正、補正予算などがあり、原案どおり可決しました。

審議結果の一覧は、3ページに掲載しているほか、右記のQRコードから本会議の様子を動画で公開しています。



9/16定例会

議会とは…

議会は、町に必要な条例（ルール）の整備や予算（お金の使いみち）を審議・決定する場所です。

年4回（3月、6月、9月、12月）に開催される定例会と、必要に応じて開催される臨時会があります。

9月議会では、職員の育児休業に関する条例や避難所を整備するための物品購入に係る契約などについて、審議しました。



補正予算を可決(議案第7号) ～どこに使われるの？～

一般会計の補正予算（第3次）は、歳入歳出に9,423万4千円を追加し、予算総額が63億1,054万円となりました。ここでは、主な事業を紹介します。

複合施設整備事業

6,724万2千円

町の複合施設を整備するため、基本計画策定・基本設計業務委託料や推進委員会開催等に係る経費



※現在の中央公民館

一宮中学校

体育館空調機整備設計業務委託料

749万4千円

一宮中学校の体育館に空調を整備するため、工事の基本設計に係る経費



带状疱疹予防接種事業

345万1千円

制度改正により、50歳以上の任意接種が65歳以上の定期接種に拡大されたため、補正するもの

見守り型自習室運営費

140万4千円

夏休み期間に設置した、旧一宮保育所の中学生・高校生向けの自習室を受験シーズンに開設するための経費



補正予算とは…

当初に決めた年間予算を、年度途中で必要に応じて見直し、追加や変更を行うものです。災害対応や物価高騰対策などの当初予算に計上されていないものに柔軟に対応するため、編成されます。

予算を補正する場合は、議会に提出し議決を経なければなりません。



篠瀬 寛樹 議員



県道南総一宮線(一宮バイパス)

現状と開通用途は

答 関係機関と協議中

問 7月30日津波警報に伴う避難指示が発令された際、渋滞が発生していた。実際に津波が来た場合、町内の交通に影響が出ると予想される。そのため、南総一宮線は、災害時には緊急輸送ネットワークの強化になる重要な路線であると再認識した。そこで以下を伺う。

① 現状と開通用途は。

② この避難指示の現状を踏まえ、改めて要望等を行ったか。

都市環境課長 ① 令和5年2月の地元説明会で概ね理解が得られ、現在は県による関係機関との協議が進められている。今年度は、本線区間の未買収地に係る用地交渉が実施されており、さらには国道128号交差点付近の境界立会いや用地取得範囲の確認作業にも着手が予定されている。次年度以降は用地の取得、工事、供用といった進捗が見込まれる。



※南総一宮線

② 改めて要望等はしていないが、今後は、県と津波警報発令による国道の交通渋滞の実態等を共有し、避難道路としての必要性等を改めて訴えていきたい。

農業集落排水

加入促進を

答 対応策を検討

問 農業集落排水事業は、他会計繰入金への依存度が高く、自主財源のみでは経営が困難であり、今後、経営が厳しくなっていくのは明白である。

そこで、町では多くの地

域で宅地開発が行われているが、宅地開発指導要綱に「農業集落排水区域内での開発では集落排水に接続しなければならない」と拘束力を持たせ、加入を促すべきと考えるが見解を伺う。

都市環境課長 拘束力を持たせるためには、要綱ではなく、条例を整備することが必要となる。

そこで、家庭からの接続は法的に強制することが出来ない農業集落排水であるが、条例を整備し、開発事業者には、開発区域内の道路に本管の敷設を求めるなど、義務を課しても問題がないか、同事業を所管する産業観光課とも連携した中で、法律の専門家にも助言を仰ぎつつ、検討を進めたい。

ボランティア活動

保険、補償は

答 ボランティア活動保険が有効

問 町内では、様々な住民主体による環境保全の取り組みがなされている。その中で、夏場中心の道路等の草刈りは、近年の猛暑をふまえると熱中症になる危険性が非常に高い。

住民の皆様が善意で行っている草刈り等の作業時に、熱中症やけが・破損事故が起きてしまった場合、補償や対応策を伺う。



都市環境課長 社会福祉協議会が窓口である「ボランティア活動保険」により、熱中症や事故等への対応が可能である。今後は、社会福祉協議会とも連携し、当該保険の周知活動に努める。

ここが聞きたい 町の考えを問う
6人の議員が一般質問

一般質問は、町政全般に関する疑問や町の考えを問うものです。

※ここでは、質問と答弁を要約した内容で掲載しております。
詳細は、町のホームページから議会会議録（12月掲載予定）または録画中継でご覧いただけます。

篠瀬寛樹 議員

P5

- ①南総一宮線について
- ②各種団体等作業時の保険、補償について
- ③農業集落排水処理施設について

畑場博敏 議員

P9

- ①国保問題について
- ②CCS事業について

大橋照雄 議員

P6

- ①防災の意識改革について
- ②サーファアの命を守る対策を求める

川城茂樹 議員

P7

- ①町道の側溝清掃について

藤井幸恵 議員

P7

- ①長野県原村との災害協定について

宇佐美信幸 議員

P8

- ①熱中症対策について
- ②町の財源確保について



議会の様子（録画）を公開しています

各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



藤井 幸恵 議員

原村との災害協定

平時より相互交流を



答 DXや教育分野での協力も視野に

問 長野県原村との災害協定について、大切なのは常日頃の関係性。段階を踏んで関係性を深めていき、お互いにとって有益な存在になるよう、計画的に進めてほしい。

答 公だけでなく民間・住民同士による定期的な交流、特に未来を担う子どもたちの相互交流を期待するが、見解を伺う。

総務課長 本協定は、本年6月27日に締結。お互いの立地の補完性を生かし、災害時、相互に支援することを目的に協議を重ね、締結に至った。

災害発生時に、資機材や物資の提供、職員の派遣、避難者の受け入れと施設提供、その他必要な支援を行う。

平時にも、DXや教育分野等での協力を視野に入れ、今後、本協定の更なる発展を目指し、原村との継続的な協議を行いながら、両自治体の信頼関係を深めていく。

防災の意識改革

防災に対する町の考えは



答 重要性を十分認識している

問 防災について、町では課も設置されておらず、他市町村との差は開く一方であると考え。先日のカムチャツカ地震発生による津波警報発令に伴い、町の対応について、以下の点を伺う。

① 防災屋外スピーカーでは「津波」の部分が不明瞭だったとの声があったが、町の対応は。

② 津波広報システムであるドローンは機能したか。

③ 国道を中心に渋滞が発生したが、その状況は。

④ 睦沢町や長生病院に避難した人がいたが、その状況は。

総務課長

① 防災行政無線の屋外スピーカーで、繰り返しお知らせした。また戸別受信機、アプリなど多様な方法での伝達も行った。

② 津波広報システムであるドローンは機能した。

③ 国道を中心に渋滞が発生したが、その状況は。

④ 睦沢町や長生病院に避難した人がいたが、その状況は。



④ 防災行政無線の屋外スピーカーで、繰り返しお知らせした。また戸別受信機、アプリなど多様な方法での伝達も行った。

② ドローンは、一宮側は予定通り、東浪見側は主要ポイントである釣ヶ崎海岸まで飛行した。天候や風速に左右される部分があり、今後は飛行コースの検討により、改善を目指していく。



③ 渋滞については、今回は貴重な知見を得る機会となった。徒歩避難や避難経路の確認など、引き続き広報などを通じて啓発していく。

④ 発災時から睦沢町と連絡を取り合い、避難者受け入れなどのご協力をいただいた。連携を確認する良い機会となった。



④ 発災時から睦沢町と連絡を取り合い、避難者受け入れなどのご協力をいただいた。連携を確認する良い機会となった。

② ドローンは、一宮側は予定通り、東浪見側は主要ポイントである釣ヶ崎海岸まで飛行した。天候や風速に左右される部分があり、今後は飛行コースの検討により、改善を目指していく。

町道の側溝清掃

町の積極的対応を

答 地域の実情に応じ、的確に



川城 茂樹 議員



問 近年、本町でも高齢化や人手不足により、地域での側溝清掃が難しくなっている。このままでは、大雨時の冠水や衛生面での悪化が懸念される。そこで今後の対策について、以下3点を伺う。

① 今後も、地域での清掃を続けてもらう方針か。

② この方針を続けるのであれば、住民への周知をより徹底すべきではないか。

③ 行政が積極的に清掃を行うのであれば、人員配置や予算を増やすべきではないか。

都市環境課長

① 町道の側溝は、本来、町が維持管理すべきものであるが、町だけで全ての清掃に対応することは困難なのが現状である。そのため、これまで通り地域の皆様による清掃を基本として考えている。



② 区長会議などを通じて改めて周知する。

③ 地域での対応が難しくなった場所が増えており、今年度予算では、業者委託による清掃費を増額した。今後も地域の状況を考慮しながら、適切な維持管理が行えるよう、必要な体制や予算を確保し、的確な対応に努める。

海での事故

サーファーを守る対策を

答 有効手段を幅広く模索

問 町は、水の事故について、注意を促す広報を積極的に発信しているように思えない。海での死亡事故の原因は、侵食対策で作られたヘッドランド、消波ブロックが代表物ではと考える。何度か対策工法の提案を本会議でしたが、町に動く気配は無い。

今後、県に対し、海岸での命を守る対策を強く求めていきたいが、見解を伺う。

都市環境課長 消波ブロックに対する事故対策は、引き続き千葉県と連携し、効果検証のなされた有効手段があるかなど、幅広く模索していく。

※こんな質問もありました
・高齢者の移動手段について
・町の財政政策について

一般質問とは…

～議会で町民の声を届ける大切な場～

一般質問とは、議員が町政について自由なテーマで町に質問できる機会のことです。

町民の皆さんからの声や要望をもとに、「こんな課題があるのでは？」と町に問いかけ、改善を求めます。

町民と行政をつなぐ、とても大事なやりとりです。





畑場 博敏 議員



国民健康保険

滞納者への新方針の対応は

答 方針をふまえて対応にあたる

問 国保税滞納世帯に対する国の新方針が示された。市町村の判断で、医療機関窓口10割負担が3割負担にできるというものである。町で同様の事例が発生した場合、政府見解のとおり対応するのか伺う。併せて周知徹底も求めたいが対応を伺う。

住民課長 本年8月15日の閣議決定で、滞納者から窓口での10割負担が困難であると相談があった場合は、市町村において「特別な事情に準ずる状況」と判断されれば、窓口負担が3割にできる旨が示された。

町ではこの方針を踏まえ、被保険者の生活実態を十分に考慮しながら対応していく。周知については、ホームページや窓口相談等で伝えたい。



宇佐美 信幸 議員



熱中症対策

涼み処等の整備を

答 町内分散配置に努める

都市環境課長 近年の記録的猛暑を踏まえると、「熱中症特別警戒情報」の発表によらずとも、暑さをしのぐ場所として利用可能な涼み処の設置も必要と考える。そのため、民間事業者の協力を得ている他自治体の事例を参考とし、平日・休日を問わず利用可能なクーリングシェルターと涼み処を、町内に適切に分散配置できるよう努める。

問 近年の猛暑は命に関わる深刻な状況であり、対策が必要である。そこで、以下の点を伺う。
① 現在のクーリングシェルターは役場庁舎と保健センターのみである。閉庁日に熱中症特別警戒情報が発令された場合の対応は。
② 常時利用可能な「涼み処」を設置すべきではないか。
③ 民間事業者の協力による「涼み処」設置についても、検討すべきではないか。



※役場庁舎1階ロビー

「熱中症特別警戒情報」の運用が開始される4月第4水曜日を目標に準備を進めたい。
※「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」とは、環境省の「熱中症特別警戒アラート」が発表された際に、市町村が冷房設備を備えた施設を一時的に暑さから避難する場所として指定・開放するもの。
※「涼み処」とは、熱中症予防のため、町民が暑さをしのいで一時的に涼むことができる場所。アラートの発令状況に関わらず、日常的に開放するもの。

CCS（二酸化炭素回収・貯留）事業
町の対応は

答 直接関係しないが十分注視したい

問 朝日新聞7月29日付千葉県版に「工業地帯排出CO2海底へ貯留計画」と報道された。記事によれば「自治体への説明は終わり」とあり、8月からは住民説明会が始まっている。

CCS事業は2050年のカーボンニュートラル実現を目指す取組として始まった。

この事業は、京葉工業地帯のCO2をパイプラインで太平洋の地下に貯留するもので、費用や安全性に重大な問題が危惧されている。技術的にも未確立と言われ、国外の例では失敗の報告が多い。高リスクに加え、省エネ、再エネ政策を遅らせるなど、国のエネルギー政策の転換が大きく求められる事業である。

町は、どのような説明を受け、この事業にどのような態度で臨むのか、見解を伺う。

財源確保

企業版ふるさと納税の強化を

答 働きかけを強化する

問 多くの公共施設整備が控えている中で、産業活性化・子育て・教育・福祉の充実を推進するには、自主的な財源確保が不可欠である。そこで、以下の点を伺う。

① 地方創生交付金や類似制度について、検討または申請準備を進めているものがあるか。

また、当町の実情に即した制度設計を検討・推進できる人材を配置すべきと考えるが、見解は。

② 企業版ふるさと納税について、昨年度は2社・110万円の実績で目標額の3000万円を下回っている。町としてより多くの企業に働きかけを行うべきと考えるが、見解は。

企画課長 産業や観光、子育て、人口減少対策などの町独自の取組に国の交付金を申請できるよう、「第3期一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案を作成中。

また、数年先を見据え、町独自事業を進めるためには、専門知識を有する人材活用に取り組むべきと考える。

町長 企業版ふるさと納税を活用し、これまでに小学校管理備品や津波避難看板、公園施設整備などの事業を実施した。今年度も防災や観光振興を目的に寄附を受けている。

今後も寄附を受けるため、第3期総合戦略と連動した地域再生計画を策定し、国の認定を受けるとともに、町の主要事業で本制度を活用できるよう働きかけを強化する。

議会中継を
ご覧ください

次回の定例議会は12月9日(火)
午前9時からの予定です。

※傍聴も可能です。



録画中継

一宮町中学生議会を開催 ～町への思いや提言を発表～

将来のまちづくりを担う中学生が、議会や行政に関心と理解を深めるため、一宮町中学生議会が10月7日（火）に町教育委員会により開催されました。一宮中学校3年生の代表者が、それぞれ町への質問や自分自身の考えを発表しました。

議長が議会進行を務め、12人の中学生議員が町へ質問！

※ここでは、発表のテーマのみご紹介しております。
詳細は、広報いちのみや12月号に掲載予定です。

さいとう かなこ
齋藤 叶子 議長



かざと はるみち
風戸 悠道 議員

町長の責務や中学生のまちづくり参加への考えは。



やまざき くるみ
山崎 紅琉実 議員

町民にとって身近である住民課の業務内容は。



にしむら はつき
西村 初姫 議員

町の自習室の利用期間・利用時間延長への考えは。



はらだ じょう
原田 晟 議員

GSSセンター裏山工事の終了時期と特別警戒区域除外の目途は。



わたなべ こうたろう
渡邊 航太郎 議員

町の防災対策と避難時の課題等は。



いのまた よしあき
猪股 義明 議員

商店街や駅周辺の現状と活性化への取組は。



よしざわ ここな
吉澤 心和 議員

町の海岸周辺駐車場の現状と今後の考えは。



たかはし なぎさ
高橋 渚 議員

福祉タクシー事業の現状の取組は。



あきやま あい
秋山 愛結 議員

騒音問題等の迷惑行為に対する町の対策は。



わたなべ けいた
渡辺 啓太 議員

税金と納税意識向上のための取組は。



たかはし ひかる
高橋 輝 議員

中学校体育館のエアコン設置に対する考えは。



かたおか ひろと
片岡 大朋 議員

世界サーフィン保護区への取組と効果は。

中学生議員の皆さんによる質問は、私達議員にとっても、大変心に刺さるものばかりでした。真剣な眼差しで議場に立ち、自分の意見を堂々と発言している姿を傍聴させていただき、一宮町の未来に大きな希望を感じました。
中学3年生では、社会科の公民の授業で主権者教育として、「国や社会の問題・課題を、自分事として捉える」「自ら考え、判断し、行動する」ということを学びます。
その成果が、今回の中学生議会という実践の場で、大いに発揮されたのではないのでしょうか。
ぜひこの体験を、これからの皆さんの将来の夢や目標に活かしていただけたらと期待します。
【議会報編集委員会 委員長 藤井 幸恵】

研修レポート

7月・8月に各種研修に参加し、研鑽を積む機会となりました。
議会広報研修では、瞬時に内容が伝わるタイトルの付け方を学び、議会だよりの編集に反映しました。米不足問題や異常気象の研修では、専門家から最新情報を得ることができ、ハラスメント研修では具体的事例を通じて防止意識を高めました。
いずれも実践的で有意義な内容であり、今後の活動に活かしていきたいと考えています。
【議会報編集委員会 副委員長 宇佐美 信幸】

町村議会広報研究会
7月4日（金） ホテルポートプラザちば

議会広報の研修に、議会報編集委員会委員が参加しました。
議会広報の基本と編集について講演があり、その後に各町村の発行した議会広報の優れた点や改善点について講評がありました。



千葉県町村議会議員研修会
7月31日（水） オークラ千葉ホテル

第1部では、「今後の食料情勢と日本農業の課題」について、第2部では「気候変動・異常気象とこれからの防災・減災対策」をテーマに講演がありました。



長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会
8月28日（木） ホテル一宮シーサイドオーツカ

議会におけるハラスメントの防止についての講演がありました。



議長・議員が出席した主な行事(令和7年7月～9月)

7月		8月		9月	
1日	綱田浅間神社御例祭 廃棄物減量等推進審議会	2日	一宮町納涼花火大会	1日	第2回一宮聖苑定例会
2日	長生郡監査員連絡協議会総会	7日	公立長生病院運営委員会	2日	公共施設整備関係予算議員説明会
4日	千葉県町村議会議長会 広報研究会	11日	長生郡町村議会議長会臨時会 長南町大花火大会	6日	第47回上総国一宮まつり
9日	第3回議会報編集委員会	16日	一宮川燈籠流し		議会運営委員会
17日	介護保険運営協議会	18日	例月出納検査 決算監査（18日～20日）	9日	議員全体会議 第1回議会報編集委員会
19日	一宮海水浴場開式及び安全祈願式	25日	長生郡市広域市町村圏組合議員説明会	13日	玉前神社秋季大祭
22日	例月出納検査	28日	長生郡町村議会議員・事務局合同研修会	16日	第3回定例会
31日	千葉県町村議会議長会 町村議会議員研修会	29日	長生郡市広域市町村圏組合議会運営委員会 長生郡市広域市町村圏組合議会第2回定例会 第13回公立長生病院の経営に関する調査研究特別委員会	18日	第2回議会報編集委員会
				19日	長生郡町村議会議長会臨時会
				22日	例月出納検査
				26日	長生郡市広域市町村圏組合 決算審査特別委員会
				30日	廃棄物減量等推進審議会

これからの一宮・これからの私



おおき ひとむ さん
大木 一夢 さん

15年ほど前に一宮町に移住して、炭火焼鳥縁屋を開業しました。市川市出身で梨園の多い地域で育った私にとって、梨の産地であるこの町にご縁を感じております。

8年程前より狩猟免許を取得し、一宮町猟友会にお世話になって、町内で有害鳥獣駆除をはじめました。捕獲した猪やキョンを有効活用するべく、獣肉の解体施設を借りて、ジビエの販売に取り組んでまいりました。ネガティブな印象のあるジビエも、捕獲段階で品質に大きな差があり、とても美味しくたべられます。

本格的に一宮町のジビエを資源としてジビエを盛り上げてゆくために、令和6年11月より、房野ジビエ Ichinomiya factory、を開設し、近隣のイベントだけでなく、出身地であり一宮町とも交流のある市川市のイベントにジビエの串焼きで出店し、多くの人に魅力を伝えています。



緑豊かで大きな空と海のあるこの町で3人の子を育てています。木苺をつんだり虫取をしたり、テレビゲームもやりますが、自然の中で遊ぶのは本当によい。産まれた時から一宮町育ちのこの子達にとって、普通と思ってる風景や人のあたたかさが、どれほど素晴らしいものか。大人になって振り返った時、この町で育って良かったと思えるよう、良いところの変わらない一宮町であって欲しいと思います。

焼鳥、ジビエと同時に16年前より近隣の地域で琉球古武道の教室を運営してきました。全日本大会、世界大会でも優勝者を排出しており、ゆくゆくは一宮町でも教室を開きたいと考えております。

編集後記

篠瀬寛樹 記

我々、議会報編集委員会では、議会広報を分かりやすく、読みやすい広報紙（議会だより）にするために、紙面編集を行っております。

その中の一般質問のコーナーでは、各議員が行った一般質問を要約し、掲載しております。そもそも一般質問では、質問に対して答弁がありますが、各題目に対して再々質問まで行えます。6回（質問3回・答弁3回）のやり取りの中で、各議員は自身の考えを述べ、町の考え・今後の方向性などの答弁を引き出しています。

それを要約して掲載するのは難しく、正しく伝わるか・伝わっているか不安があります。議会での質疑応答と紙面ではニュアンスも変わってきます。是非とも気になる質問がありますら、QRコードに各議員の一般質問の録画がありますので、読み取っていただき、見聞きしていただけたらと思います。



発行：一宮町議会
編集：議会報編集委員会
発行日：2025年11月5日
〒299-4396
千葉県長生郡一宮町一宮2457
電話 0475(42)1421(直)